

ご意見・ご提案		受付年月日	令和8年9月14日
件 名	子どもの居場所づくりについて		
内 容	<p>いつも市政運営にご尽力いただき、ありがとうございます。</p> <p>今回は、浅口市の子どもたち、特に小学生が安心して過ごせる場所についてご検討いただきたく、意見をお送りいたします。</p> <p>浅口市には、未就学児と保護者が利用できる施設や、公園、図書館、公民館などがあります。一方で、小学生が放課後や休日に気軽に集まり、遊んだり過ごしたりできる「児童館」のような屋内の居場所がありません。我が家にも小学生の子どもがおりますが、児童館を利用したいときには、笠岡市や玉島など近隣自治体の児童館まで連れて行っています。</p> <p>市内にも公園はありますが、夏の猛暑や雨の日など、屋外で遊ぶことが難しい日は少なくありません。また、図書館や公民館は大切な公共施設ですが、子どもたちが友達と遊んだり、自由に過ごしたりすることを目的とした児童館とは役割が異なるのではないのでしょうか。</p> <p>浅口市に児童館を求める意見に対して、これまで市からは既存の公園、公民館、図書館、放課後子ども教室などを活用する考えが示されていると承知しています。しかし、実際に市内に住む子どもたちが、市外の児童館を利用しているという現状があります。</p> <p>「浅口市の子どもが、なぜ市外まで行かなければ児童館を利用できないのか」という点について、一度改めて考えていただきたいと思います。</p> <p>もちろん、新しい児童館を一から建設するには、多額の費用や維持管理費が必要になることも理解しています。そのため、必ずしも大規模な児童館の新設だけを求めているわけではありません。</p> <p>例えば、既存の公共施設の一部を活用した子どもの居場所、空き施設を利用した小規模な児童館、定期的な「出張児童館」など、費用を抑えながら実現できる方法も検討できるのではないのでしょうか。</p> <p>また、未就学児だけでなく、小学生、さらに将来的には中学生や高校生まで含めて、子どもたちが安心して過ごせる全天候型の屋内の居場所について、市としてどのように考えておられるのかお聞きしたいです。</p> <p>子育て世帯にとって、「子どもが安心して過ごせる場所が身近にある」ということは、住みやすいまちを考える上でも大切な要素だと思います。</p> <p>児童館を新設するかどうかということだけではなく、浅口市の子どもたちの屋内の居場所が現在十分なのか、市外の児童館を利用している家庭がある現状も踏まえ、今後の子どもの居場所づくりについて改めて検討していただければ幸いです。</p>		

回 答		回答年月日	令和８年１０月１３日
担当部課	教育委員会事務局保育未来課		
内 容	<p>平素より市政にご理解を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>このたびお寄せいただきましたご意見につきまして、下記のとおり回答いたします。</p> <p>子どもたちが天候を気にせず安心して過ごせる居場所の必要性は、市といえども認識しているところですが、児童館のような新たな施設の整備は、多額の費用や継続的な維持管理、人員の確保といった課題があり、現在のところ建物の新設は考えておりません。</p> <p>人口減少や厳しい財政状況の中、近隣市町と施設を相互に活用しあう広域的な連携も、今後の選択肢の一つとなりうると考えております。</p> <p>現在、本市では既存施設を活用した取組みとして、各小学校での「放課後子ども教室」や、公民館・図書館・岡山天文博物館・かもがた町家公園、つどいの広場等での各種体験教室を実施しております。こうした様々な体験活動の機会をしっかりと活用いただけるよう、実施内容の見直し等を行いながら、周知に努めてまいります。</p>		